

第9週 復活と一粒の麦としてのキリスト 主題と主要な御言葉	
復活としてのキリスト	ヨハネ 11:25 イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である…」 民 17:08 …レビの家のアロンの杖が芽を出し… Ⅱコリ 1:09…わたしたちが自分自身に信頼するのではなく、 <b>死人を復活させる神に信頼するため</b> でした。
一粒の麦としてのキリスト	ヨハネ 12:23 イエスは彼らに答えて言われた、「 <b>人の子の栄光が現される時</b> が来た。 ヨハネ 12:24 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う、 <b>一粒の麦が地に落ちて死ななければ</b> 、それは一粒のままである。しかし、それが死んだなら、 <b>多くの実を結ぶ</b> 」

I	復活としてのキリストを経験し、享受し、表現する	A	キリストの <b>復活の真理</b> (三項目) (長子—からだのかしら、再生—からだの肢体、命を与える霊—からだの本質、実際)
		B	その霊はキリストの <b>復活の実際</b> です (三一の神の実際、復活の実際、キリストのからだの実際)
		C	キリストの <b>復活の命</b> の中で生きてはじめて、キリストのからだの <b>実際の中</b> にいることができる
		D	芽を出した杖は、 <b>復活した方</b> であるキリストを表徴します。 (つまり、わたしたちの命、生活、奉仕の中には、芽を出した杖で表徴される復活した方であるキリストがなければならないということです)。
		E-F	わたしたちは <b>復活の中で生活する</b> には、 <b>復活の神</b> を知り、 <b>経験しなければなりません</b>
II	一粒の麦としてのキリストを経験し、享受し、表現する	A-F	栄光が現される <b>過程</b>
		G-H	栄光が現される <b>結果</b> (合併の三方面) それは、御父の家、御子のぶどうの木、その霊の子供であり、神のエコノミーを完成します。

日	段落	流れ	主題	要点
D1	復活としてのキリスト	真理 実際	復活の <b>真理</b> と <b>実際</b> としてのキリスト	キリストの復活に関する <b>真理</b> その霊はキリストの復活の <b>実際</b> です
D2		奉仕 復活した方	芽を出した杖は、 <b>復活した方</b> であるキリストを表徴します	芽を出した杖は、復活が神に仕える永遠の原則を表徴します 復活とは神だけができ、わたしたちはできないということです
D3		生活 復活の神	復活の中で <b>生活</b> するには <b>復活の神</b> を認識し経験する	生ける神と復活の神(の区別) 苦難を通して復活の中で生き、復活の神によって構成される
D4			復活の神はわたしたちを更新し、わたしたちの中へと加えられます	復活の神は日ごとにわたしたちを更新します 復活の神はわたしたちの中へと加えられます
D5	一粒の麦としてのキリスト	過程 結果	一粒の麦としてのキリストが栄光を現わす <b>過程と結果</b>	キリストの神性の栄光を隠すことと解放すること キリストが栄光を現わすことは合併を生み出す
D6		合併	キリストが栄光を現わされた結果は、合併の三方面です	栄光が現される <b>過程</b> 栄光が現される <b>結果</b> (合併の三方面)

**まとめ**  
 復活の**真理**を認識し、復活の中で生活し奉仕する  
 復活の**真理**を認識する      復活の**実際**を持つ

復活の中で**生活**する

復活の神を経験する

復活の中で**奉仕**する

命の中の**権威**

メッセージ 9

復活と一粒の麦としてのキリスト

聖書：ヨハネ 11:25. 12:23-24. ルカ 12:49-50.

Ⅱコリント 1:8-9. 4:16. 出 25:31-40. 民 17:8

**復活としてのキリスト**を経験し、享受し、表現する

I. わたしたちは**復活としてのキリスト**を経験し、享受し、表現することができます——ヨハネ 11:25：

**\*わたしたちは、キリストの復活の真理の三項目を見る必要があります：**

- ① 神の長子—からだのかしら
- ③ 命を与える霊—からだの本質、実際
- ② すべての信者の再生—からだの肢体

A. わたしたちは復活の中で生活するために、キリストの復活に関する明らかにされた真理を見なければなりません：

- ✓ **キリストは、神によって生まれ、神の長子、からだのかしらとなりました**
- 1. 人性の中のキリストは、彼の復活の中で神によって生まれ、神の長子となりました——使徒 13:33. ローマ 8:29 後半。
- ✓ **キリストの復活を通して、すべての信者は再生され、からだの肢体とされました**
- 2. キリストのすべての信者はキリストの復活を通して父なる神によって再生され、彼のからだ、彼の複製としての召会を生み出しました——Ⅰペテロ 1:3. ヨハネ 12:24. Ⅰコリント 10:17。
- ✓ **キリストは命を与える霊と成り、からだの本質また実際となりました**
- 3. 最後のアダムとしてのキリストは、命を与える霊と成りました——15:45 後半。
- ✓ **復活がなければ、からだはなく、神のエコノミーもありません**
- 4. 主の復活のこれらの主要な項目 (からだのかしらとしての長子、からだの肢体としての多くの子たち、からだの本質また実際としてのその霊) がなければ、召会はなく、キリストのからだはなく、神のエコノミーはありません——参照、コロサイ 1:18. Ⅰコリント 12:12. エペソ 4:4。

**\*その霊は復活の実際です**

B. その霊は三一の神の実際、復活の実際、キリストのからだの実際です：

1. 手順を経た三一の神の実際は、究極的に完成された実際の霊です——ヨハネ 14:17. 15:26. 16:13. Ⅰヨハネ 5:6。
2. 復活の実際は、命を与える霊としてのキリストです——ヨハネ 11:25. 20:22. Ⅰコリント 15:45 後半。
3. 実際の霊は、手順を経た三一の神のすべてを、キリストのからだの中で実際とします——ヨハネ 16:13-15。
4. その霊がなければ、キリストのからだはなく、召会はありません——エペソ 4:4。

**\*わたしたちはキリストの復活の命の中を生きてこそ、キリストのからだの実際の中にいることができます、**

C. わたしたちはキリストのからだの実際の中にいるために、絶対的にキリストの復活の命の中にいる必要があります：

1. 召会は絶対にキリストの要素のものであり、絶対に復活の中にあり、絶対に天上にあります——Ⅰペテロ 1:3. エペソ 2:6. 参照、創 2:21-24。
2. 金の燭台は、キリストのからだとしての召会を予表し、復活の命としてのキリストが成長し、枝を出し、芽を出し、花を咲かせて、光を輝かせることを描写して

います——出 25:31-40. 民 17:8. 啓 1:11-12.

**\*つまり、わたしたちの命、生活、奉仕の中には、芽を出した杖で表徴される復活した方であるキリストがなければならないということです。**

D. **芽を出した杖は、復活した方であるキリストを表徴し、わたしたちの命、わたしたちの生活、わたしたちの内側にある復活の命であるべきです。この命は芽を出し、花を咲かせ、実を結んで円熟すべきです——民 17:1-11:**

1. イスラエルの子たちが反逆した後、民数記第 16 章において記録されているように、神は十二人の族長たちにイスラエルの十二部族にしたがって十二本の杖を取り、それらを証しの天幕の中にある契約の箱の前に置くように命じました。それから彼は言いました、「わたしが選ぶ人の杖は芽を出す」——17:5。
2. 十二本の杖はすべて葉がなく、根がなく、枯れて、死んでいました。芽を出した杖はどれであれ神によって選ばれた杖でした。ここでわたしたちが見るのは、復活が**神の選びの根拠**であるということと、奉仕の根拠がわたしたちの天然の命の外にあるものであるということです。こういうわけで、**芽を出した杖が表徴するのは、わたしたちが復活のキリストを経験して、神に受け入れられ、神の与えられた務めにおいて權威を持つ**ということです。
3. **あらゆる奉仕の原則は、芽を出した杖にあります。神は十一本の杖をすべて族長たちに戻しましたが、アロンの杖を契約の箱の中に保存し、永遠の記念としました。これが意味するのは、復活が神に対するわたしたちの奉仕における永遠の原則である**ということです——9-10 節。
4. 杖が芽を出すことは、へりくだらせる経験です。杖は人の地位を表徴し、芽を出すことは復活の命を表徴します。ですから、愚かな者だけが高ぶり、自分は他の人よりもまさっていると言うのです——参照、マルコ 11:9. II コリント 3:5. I ペテロ 5:5。

**ただ神だけができ、わたしたちはできない**

5. **復活が意味するのは、すべてのものが神からであって、わたしたちからではない**ということです。それが意味するのは、**ただ神だけができ、わたしたちはできない**ということです。復活を認識している人はみな、自分自身にある望みを放棄しており、自分ができないということを知っています。

**サラの経験**

6. 天然の力が残っている限り、復活の力は現されることができません。サラが自分で子供を産むことができたとしたら、イサクは生まれることはなかったでしょう——創 18:10-15. 21:1-3, 6-7。

**わたしたちの経験**

7. **わたしたちができることは、天然の領域に属します。わたしたちができないことは、復活の領域に属します。復活は、わたしたちをはるかに超えていることであり、わたしたちが自分自身ではできないことです——マタイ 19:26. マルコ 10:27. ルカ 18:27。**
8. **人は自分自身が終わらされなければなりません。そうしてはじめて、人は自分が全く役に立たないことを確信します。人は自分自身ではできないということを認識したことがないなら、神ができるということを経験することは決してできません。復活が意味するのは、わたしたちができないということと、神がわたしたちの中で、わたしたちを通して、わたしたちのために、すべてのことを行なっている方である**ということです——参照、II コリント 1:8-9. 4:7。
9. **クリスチャンであることは、ただ難しいだけではありません。それは不可能です。すべてを含む霊としてわたしたちの中に生きている、手順を経て究極的に完成された三一の神だけが、クリスチャンであることができます。その霊だけが、クリスチャンであることができ、その霊だけが勝利者であることができます。**

**\*わたしたちが、わたしたちの中の神聖な命によって生きる時、その結果はキリストのからだです**

- E. わたしたちは自分の天然の命によって生きないで、内側の神聖な命によって生きるとき、復活の中にいます。この結果はキリストのからだです——ピリピ 3:10-11:
1. わたしたちはみな、主によって弟子とされて、神聖で奥義的な人となり、自分の天然の命を否むことによって神聖な命を生きる必要があります——参照、ヨハネ 3:8。
  2. 聖書的に行なわれていても、天然の命において行なわれる事は何であれ、キリストのからだの実際ではありません——I コリント 3:12。

**\*ですから、わたしたちが復活の中で生活するためには、復活の神を経験しなければなりません。**

- F. わたしたちは復活の中で生活するために、復活の神を知り、経験し、得なければなりません——II コリント 1:8-9:
1. 神は十字架を通して働いており、わたしたちを終結させ、わたしたちを終わりへともたらしめます。それは、わたしたちがもはや自分自身に信頼するのではなく、復活の神に信頼するためです——9 節。

### 生ける神と復活の神の区分

2. 生ける神は人のために多くの事を行なうことができますが、生ける神の命と性質は人の中へと造り込まれません。復活の神が働くとき、彼の命と性質は人の中へと造り込まれます:
  - a. 神が働いているのは、外面の行為によって彼の権能を知らせるためではなく、ご自身を人の中へと分け与え、造り込むためです——ガラテヤ 1:15-16. 2:20. 4:19。
  - b. 神は環境を用いて、ご自身の命と性質をわたしたちの中へと造り込みます——II コリント 4:7-12. I テサロニケ 3:3。
  - c. わたしたちは復活の中で生活して、復活の神で構成されるために、「すべて」を通して、神の長子であるキリストのかたちに同形化されなければなりません——ローマ 8:28-29. ヘブル 12:10. エレミヤ 48:11。
  - d. この宇宙における苦難のおもな目的は、特に神の子供たちに関しては、苦難を通して神の性質が人の性質の中へと造り込まれて、人が最も満ち満ちた程度にまで神を得ることです。
  - e. わたしたちは患難を経過するとき、日ごとにわたしたちの中で継続的な更新が起こる必要があります。それによって、神はご自身の心の願いを完成して、わたしたちを新エルサレムとすることが出来ます——エゼキエル 36:26. II コリント 4:16. 5:17. 啓 21:2。
3. わたしたちは復活の中で生活するために、復活の命の新鮮な供給で養われることによって、日ごとに更新されなければなりません——II コリント 4:16。
4. 真のクリスチャン生活は、朝と夕に、日ごとに、復活の神がわたしたちの中へと加えられることです——コロサイ 2:19. ローマ 8:10, 6, 11。
5. わたしたちは復活の中にある神聖な命の更新する能力を受けるために、神と接触し、自分自身を彼に開き、彼にわたしたちの中へと入って来ていただき、日ごとにわたしたちの中へと新しく増し加わっていただく必要があります——ピリピ 2:12-13. 3:10-11. 詩第 18 篇タイトル. II コリント 4:10-12, 16. テトス 3:5. エペソ 4:23. 5:26。

**一粒の麦としてのキリスト**を経験し、享受し、表現する

II. わたしたちは一粒の麦としてのキリストを経験し、享受し、表現することが出来ます——ヨハネ 12:24:

### 過程

**\*キリストの神性、栄光は一粒の麦の中に隠されていました、**

A. キリストの神性と彼の神聖な命との栄光は、一粒の麦としてのキリストの中に隠されていました——ヨハネ 12:23-24。

**\*キリストは、神性の栄光が死によって解放されることを切望していました、**

B. 彼の神性の栄光が彼の人性の殻によって隠されていたとき、彼は圧迫され抑制されて、彼の死のバプテスマをもってバプテスマされ、彼の神性の栄光が彼の神聖な命の火と共に解き放たれることを切望していました——ルカ 12:49-50。

**\*彼の死によって、彼の人性の殻が砕かれ、キリストの神性の栄光が解き放たれました**

C. キリストの神性の栄光を解き放つことは、彼の死によって彼の人性の殻を砕くことを通してでした——ヨハネ 12:24 :

1. 彼は、彼の神聖な命と神聖な栄光を含む唯一の麦粒でした。
2. 彼の人性の殻が彼の十字架を通して砕かれたとき、彼の神性のすべての要素（彼の神聖な命と神聖な栄光）が解き放たれました。
3. この意味で、彼の死は命を解き放つ死であり、同時に彼の栄光が解き放たれると考えられます。

**\*彼の死を通して復活の中で、キリストの神性の栄光は解き放たれました**

D. キリストの神性の栄光を解き放つことは、彼の死を通して、復活の中で、御父によって、神聖な栄光をもって、キリストの栄光が現されることでした——ヨハネ 12:23-24. ルカ 24:26。

**\*これはすなわち、キリストの父への祈りが答えられたということです**

E. キリストは彼の人の生活において、彼の御父が彼の栄光を現すようにと祈り、御父は彼の祈りに答えました——ヨハネ 17:1. 使徒 3:13。

**\*そのように栄光を現すことは、キリストを肉体と成った時期から包括の時期に移しました**

F. そのように栄光を現すことは、キリストを肉体と成った時期から包括の時期に移し、その中で彼は最後のアダムとして、復活の中で命を与える霊と成りました。

**結果**

**\*結果、すべての信者を、手順を経た三一の神との合併の中へともたしました**

G. キリストは一粒の麦として、彼の命を解き放つ死と命を分与する復活を通して、すべての信者を、手順を経た三一の神との合併の中へともたしました :

1. 神は彼の神聖な三一において合併です——ヨハネ 14:10-11。
2. 究極的に完成された三一の神と再生された信者たちは、キリストの復活の中で合併となりました——16-20 節。

**\*この神性と人性の、宇宙的な合併には三つの面があります：それは御父の家、御子のぶどうの木、その霊の子供であり、神のエコノミーを完成します。**

H. キリストの復活の中で、手順を経た三一の神と再生された信者たちとの拡大された、神性と人性の、宇宙的な合併が、変貌した一粒の麦としてのキリストから生み出され、それには以下の三つの面があります :

1. 第一の面は御父の家であり、御父の安息、満足、現れのためです——ヨハネ 14:2 :
  - a. キリストにあるすべての信者は、御父の家の中の住まいです——2 節前半。
  - b. 御父の家が建造されるのは、御父と御子とその霊と共に、贖われた選びの民を絶えず訪れることによってです——21, 23 節. エペソ 2:19-22. 3:16-19。
2. 第二の面はまことのぶどうの木であり、神の拡大、広がり、栄光を現すことのためです——ヨハネ 15:1-8, 16 :
  - a. まことのぶどうの木は、すべてを含むキリストのしるしとして、手順を経て究極的に完成された三一の神の有機体です。
  - b. その接ぎ木された枝は神聖な命をもって再生され、十字架につけられ復活したキリストとの命の結合の中へともたられ、手順を経て究極的に完成された三一の神と合併されました。
3. 第三の面はその霊の子供、新しい人であり、神の永遠のエコノミーを完成します——ヨハネ 16:13-16, 19-22 :
  - a. 新しい子供、新しい人は、究極的に完成された霊によって生まれました——エペソ 2:15。
  - b. わたしたちが思いの霊の中で更新されることによって新しい人を着ることは、最終的にキリストのからだを究極的に完成し、このキリストのからだは新エルサレムを究極的に完成します——4:23-24。